

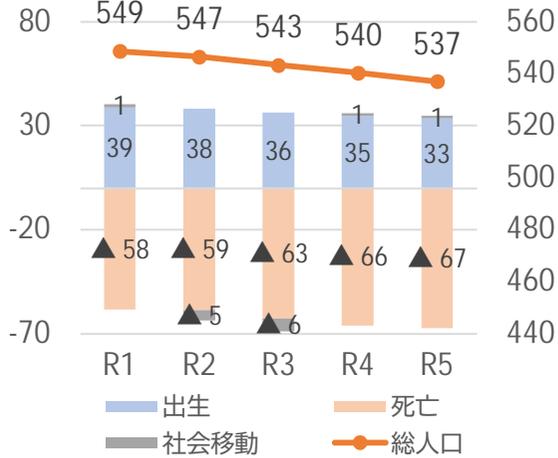
○次期地域創生戦略 骨格案策定までの、これまでの経緯

6月	<ul style="list-style-type: none"> 第1回戦略会議（6/21） （次期戦略策定の方針・進め方） 	<ul style="list-style-type: none"> ・市町との意見交換
7月	<ul style="list-style-type: none"> 第1回企画委員会（7/11） （次期戦略の考え方等） 	
8月	<ul style="list-style-type: none"> 第2回企画委員会（8/6） （次期戦略の内容検討） 	<ul style="list-style-type: none"> 〔随時、関係者との意見交換や現地取組の視察〕
9月	<ul style="list-style-type: none"> 第3回企画委員会（9/10） （次期戦略の内容検討） 	
10月		<ul style="list-style-type: none"> （内容修正・意見交換等）
11月		
12月	<ul style="list-style-type: none"> 第2回戦略会議【今回】 ※書面開催（次期戦略の概要案） 第4回企画委員会 [12/19] 第3回戦略会議 [12/26]（次期戦略の内容全般） 	

1 第2期戦略の評価

- ・新型コロナ感染拡大の影響により婚姻数や出生数の減少が加速化している。
- ・東京一極集中の再加速により20代の若者を中心に県外に流出し、日本人の転出超過が続いている。
- ・一方で、国際移動による外国人の動きも含めたトータルでは社会増となっている。
- ・日本人の動きについても、ファミリー層の転入超過が続き、良好な住環境などが兵庫の強みとなっている。
- ・コロナ禍からの経済回復や円安を背景とする輸出産業の業績拡大、インバウンド需要により、県内の経済は良好に推移している。

④ 総人口及び出生・死亡数・社会移動数の推移



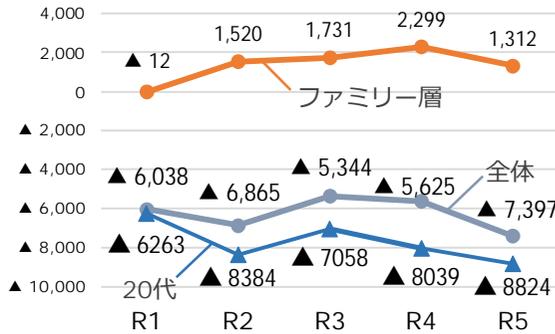
⑤ 出生数・合計特殊出生率の推移



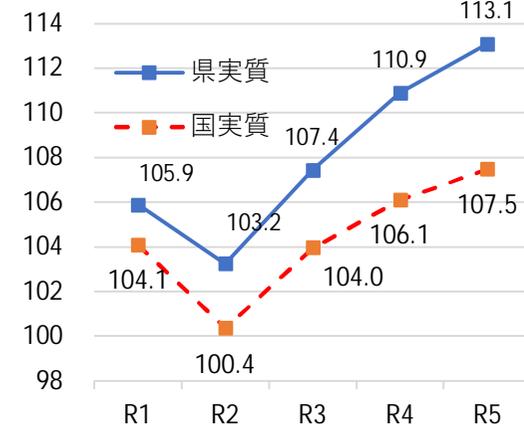
⑥ 社会移動（国際移動・外国人含む）の推移

年度	R1	R2	R3	R4	R5
人数	1,388	▲4,855	▲6,046	1,312	1,291

⑦ 転入超過の推移（ファミリー層(0~14歳、30~49歳)）



⑧ 一人あたりGDP（実質）伸び率の推移（H25=100）



【第2期戦略で掲げた戦略指標の状況】

※達成状況：「A」100%以上、「B」90~100%未満、「C」70~90%未満、「D」70%未満

戦略目標	戦略指標	R1(戦略開始時)	R5目標	R5実績
地域の 元気づくり	① 県民一人あたり県内GDPの伸び	実質 国104.1<県105.9 名目 国109.4<県110.3	国を上回る伸びの維持	実質 国107.5<県113.1 名目 国119.2<県121.9 A
	② 住んでいる地域にこれからも住み続けたいと思う人の割合	77.9%	前年度(77.8%)を上回る	79.0% A
社会増対策	③ 日本人の転入超過数（R6年に日本人社会減ゼロ）	▲7,260人	▲214人	▲7,004人 D
	④ 若者定着率（R6年に93.0%）	92.0%	92.8%	91.3% B
	⑤ 外国人の増加数累計（R6年に25,000人）	1,222/年	20,000人	27,600人 A
自然増策 (子ども子育て)	⑥ 合計特殊出生率（R1=1.41を維持）	1.41	1.41	1.29 B
	⑦ 婚姻件数（27,000件）	25,109件	26,500件	19,629件 C
自然増対策 (健康長寿)	⑧ 平均寿命と健康寿命の差（男性1.40歳未満、女性3.13歳未満）	男性 1.48未満 女性 3.20未満	—	※参考R3 男性 1.39 女性 3.06 —
	⑨ 運動を継続している者（75%）	62.7%	65.8%	61.0% B

2 第3期 兵庫県地域創生戦略の全体像

基本
理念

五国の多様性を活かし、一人ひとりが望む働き方や質の高い暮らしが実現できる地域へ
～地域や人をつなぐ「縁」を生み出し、共創の取組を五国に広げる～

3つの柱 『自分らしく生きられる社会の創出』 (方向性1～3) 『五国に広がる可能性の追求』 (方向性4～6) 『暮らしの持続性の確保』 (方向性7～8)

8つの
方向性

<p>1 多様な学びや働き方が叶う社会を創る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育環境の充実 ・リスキング等学び直しの環境づくり ・WLBをはじめとした多様な働き方の促進 	<p>2 居場所と役割を創る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひきこもり対策の推進 ・不登校対策の支援強化 ・課題を抱える若者等への支援 	<p>3 寛容性を広げる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサル社会づくりの推進 ・D&Iを推進する企業等の拡大 ・固定的性別役割分担意識の緩和 	<p>4 ひとの動きを生み出す</p> <ul style="list-style-type: none"> ・五国の強みを活かした移住促進 ・交流人口拡大に向けた観光施策の推進 ・関係人口の拡大 	<p>5 地域の固有性を磨く</p> <ul style="list-style-type: none"> ・万博後も見据えたFPの取組推進 ・兵庫の強みを活かした産業振興 ・スポーツや芸術を通じた賑わいづくり 	<p>6 経済活力を創出する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若者の県内就職の促進 ・人手不足対策の強化 ・ブランド力の強化 ・SDGs経営の促進 	<p>7 人・自然・文化を次代につなぐ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出会い・結婚・子育て支援 ・自然と共生する地域づくり ・景観や伝統など地域の資産の継承 	<p>8 安心して暮らし続けられる地域を創る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活機能の維持に向けた取組推進 ・地域運営組織の支援強化 ・防犯・見守り ・防災・減災対策
---	--	---	--	---	--	---	---

(主な取組例)

戦略推進
プロジェクト

<ul style="list-style-type: none"> ・地域創生の実現に向けたプロジェクトを設定 ・プロジェクトの推進状況等を毎年度フォローアップし、必要に応じて取組を改善 	<p>① 若者Z世代応援プロジェクト (望む学びや働き方が叶う環境づくり)</p>	<p>④ 五国のナリワイ育みプロジェクト (地域の稼ぐ力と雇用力を高める取組の推進)</p>
	<p>② ひとりじゃないプロジェクト (社会的な孤独・孤立を防ぐ取組の強化)</p>	<p>⑤ ひょうご五国豊穣プロジェクト (「農」を核とした農山漁村の活性化)</p>
	<p>③ 外国人「第二のふるさと」プロジェクト (外国人が安心して暮らし、働ける地域づくり)</p>	<p>⑥ 五国のご縁(五縁)プロジェクト (地域や人をつなぎ、新たな価値を創出)</p>

○計画期間

▶令和7年度～令和11年度
(5年間)

○戦略の位置付け

▶まち・ひと・しごと創生法に基づく県版総合戦略(デジタル田園都市国家構想交付金の交付要件)
▶「兵庫県地域創生条例」に基づく総合戦略(議決が必要な計画)

3 人口の将来展望及び指標・評価

■人口の将来展望

・ 国立社会保障・人口問題研究所の将来推計(中位)[※]による2070年の本県人口は340万人と予測

※ R5地域別将来推計人口

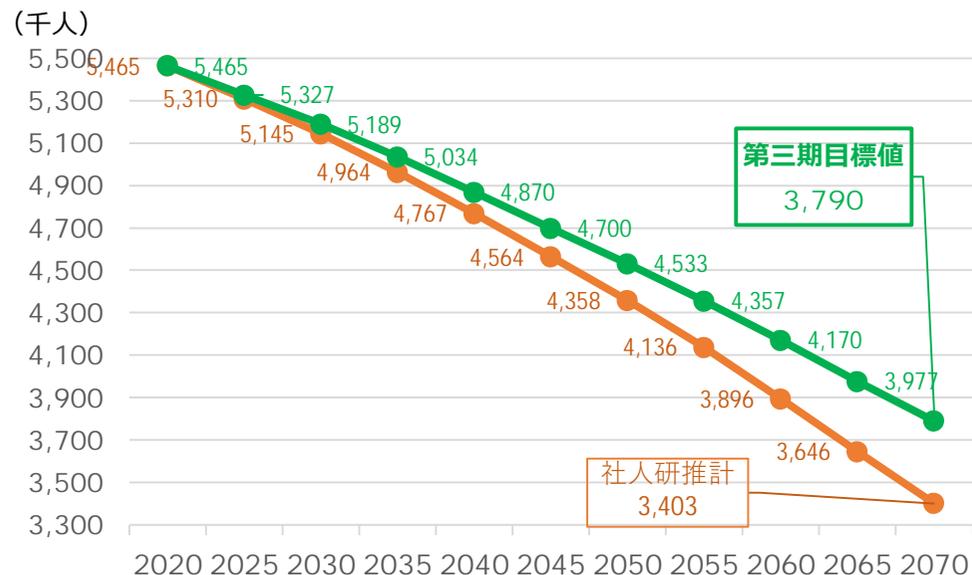
・ 2070年における本県の人口目標は、戦略の総合的な推進により、社人研の推計を上回る**380万人**とする

※ 新型コロナ感染拡大等による出生数の減少、東京一極集中の再加速による若者を中心とした県外流出を勘案し、現行戦略の目標(2060年450万人)を見直し

・ 人口目標に基づく2029年の県人口は521.7万人と想定され、2024年から12.0万人減、社人研推計からは3.9万人の増

区分	2020年	現状(2024年)①	2029年②	増減(②-①)
県戦略	5,465千人	5,337千人	5,217千人	▲120千人
社人研	—	—	5,178千人	▲159千人

+39千人



■指標・評価

・ 個別の取組を直接的に評価する統計データ等による**客観指標**に加え、統計データ等では測定が困難な「幸せの実感」や「心の豊かさ」等の**主観指標**を8つの柱に応じて設定(主要指標を約40指標、その他約200指標設定)

<主な指標>

指標	現状	目標値(R11)	備考
合計特殊出生率	<客観> 1.29(R5)	1.27	ひょうご子ども・子育て未来プラン
県内の転入超過数(国際移動・外国人含む)	<客観> 1,291人(R5)	5,400人	第2期目標「日本人の社会減ゼロ」から変更
県内一人あたり県内総生産(GDP)の伸び	<客観> (R4) 実質 国105.1 県110.3 名目 国111.8 県110.4	国を上回る一人当たりGDP伸びを維持	継続採用
多様な働き方を選択しやすい社会だと思う人の割合	<主観> 22.7%(R6)	前年度を上回る	兵庫のゆたかさ指標
住んでいる地域に自慢したい宝があると思う人の割合	<主観> 40.9%(R6)	前年度を上回る	//
住んでいる地域には年齢・性別・障害の有無等に関わりなく暮らしやすい環境が整っていると思う人の割合	<主観> 36.0%(R6)	前年度を上回る	//
孤立しがちな人を生まないように気をかけあう社会であると感じる人の割合	<主観> 10.4%(R6)	前年度を上回る	//
住んでいる地域は治安が良く、安心して暮らせると思う人の割合	<主観> 68.0%(R6)	前年度を上回る	//
健康寿命(男性・女性)	<客観> 男性 80.41(R2) 女性 84.93(R2)	男性 81.53(R11) 女性 85.05(R11)	健康寿命延伸プラン(厚労省)から推計 第2期目標「平均寿命と健康寿命との差」から変更